

\*本文はダイヤモンド・フォー・ピース (DFP) の現地パートナー ジョンソン・ウォロバ・モモル氏が執筆したものを、DFPにて翻訳・編集したものである。

\*エボラ出血熱はエボラウイルスによる急性熱性疾患です。本疾患が必ずしも出血症状を伴うわけではないことなどから、近年ではエボラウイルス病 (Ebola virus disease: EVD) と呼ばれることが多いため、本文ではエボラウイルス病と表記します。(参照：国立感染症研究所ホームページより <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/342-ebola-intro.html>)

2014年9月25日作成

## リベリアにおけるエボラウイルス病の危機

リベリアにおけるエボラウイルス病の拡大は、昨年(2013年)の12月に隣国ギニア南東部ゲケドゥ(Guekedou)でエボラウイルス病患者が発見され、リベリア北部へと感染拡大したことがはじまりと言われていています。その後2014年の6月には、シエラレオネからの感染が確認されています。専門家によると、エボラウイルスは人や動物の体液中において急速に突然変異すると言われており、予防可能な病気ではあるものの、未だ治療法は確立されていません。またリベリアにおけるエボラウイルスは、ギニア、シエラレオネ、ナイジェリアといった他西アフリカ地域における感染に比べ、重篤なものと言われていています。

図1：リベリアへの感染経路



出典) OpenStreetMap を使用し、DFP 作成

## 何故エボラウイルス病がこんなにも感染拡大しているのか？

リベリアで急速に感染が拡大した要因はいくつか考えられます。

第一に、14年間もの内戦の影響による脆弱な保健医療体制、

第二に、隣国との不十分な国境管理、

第三に、リベリア政府による初期感染後の対策の遅れが挙げられます。

リベリアでは保健医療従事者も国境管理人も、エボラウイルス病の予防や管理に関する研修を受けていませんでした。保健医療従事者がエボラウイルス病について聞いたことも見たこともなかったので、他の病気の患者と見分けられず、そのため感染防護体制を取らないまま全ての患者の治療にあたりました。こうして多くの医療従事者がエボラウイルス病の犠牲となったのです。

また、一般市民に対する情報や感染予防の知識などの伝達体制も十分に整っておらず、人々を混乱させました。初期の感染予防に関する公式の情報は、リベリアにおいて食用として一般的であった、「サルやコウモリを食べないようにしよう」というものでした。実際にサルやコウモリがエボラウイルスのキャリアー(保菌体・媒介者)の可能性が高かったからです。ただ、リベリアの人々は、この情報は彼らの文化であるサルやこうもりを食べることを止めさせるためのデマだと捉えたのです。

また、エボラウイルス病を認めなかった時期が長かったり、一般家庭における患者の看護や、葬式の際、遺体を洗浄してから埋葬するという習慣が、リベリアにおけるエボラウイルスの感染拡大を助長させました。そして、検査機関や治療施設、訓練を受けた医療従事者といった人々が初期の感染防御の知識に欠けていたこともさらに感染を拡大させた原因となりました。多くの医療従事者が死亡してしまったため、医療施設が閉鎖してしまい、そのため、エボラウイルス病患者が家庭や地域で亡くなるが増え、更なる感染拡大を引き起こしているのです。

写真1：リベリアでは野生動物は大事なタンパク源



2012年トライ・インターナショナル撮影

## リベリアにおけるエボラウイルス病患者の統計

リベリア保健社会福祉省によるエボラウイルス病患者統計(2014年9月21日公表)<sup>1</sup>によると、累積患者数は、3,280人<sup>2</sup>、累積死亡者は1,720人<sup>3</sup>となっています。うち医療従事者は、累積患者数182人、死亡者数87人となっています。

こういった患者の増加報告を受け、同月、世界保健機関(WHO)ではリベリアにおけるエボラウイルスの感染が数週間以内に急激に悪化すると警告。専門家からは、このまま何の手段も講じない場合、20,000人の死者が出るとの予測が出されました。

## エボラ制圧活動に対する国の対応

2014年7月以降、リベリア政府はエボラ制圧のための様々な施策に打って出しました。

まず、国家計画をスタート。計画の実施に500万ドル(日本円にして、約5億4千万円)を国庫から出資しました。引き続き、90日間の非常事態宣言を發布。公共の集会および人の移動を禁止し、感染重篤地域を隔離し検疫しました。さらに、大統領自身をリーダーとする国家エボラ作業部会を設立し、非感染地域への感染を広げないための対策に乗り出しました。政府は、エボラウイルス病に対する正しい理解を浸透させるべく、住民への積極的な働きかけと発信を強化しています。一方で大統領は、諸外国、とりわけアメリカ合衆国に対し、エボラ制圧への協力を強くアピールしています。

## 諸外国の反応

西アフリカ以外の国、特にリベリアに対し、諸外国の反応はかなり鈍い状況にあります。エボラウイルス病の蔓延は国際的な危機であるとのWHO宣言にも関わらず、諸外国が積極的に目を向け始めたのは最近になってのことです。ようやく、専門医療チームが重篤患者の多い地域に配置されはじめました。アメリカ合衆国はエボラウイルス病治療専門病院の設立、さらには、移動式の研究施設を国内随所に設けることを約束しました。これらの取り組みはエボラウイルスのさらなる感染を食い止め、近隣国への感染拡大を防ぐことを目的にしています。

## バボル州における取り組み

リベリア内の各州ではエボラウイルス病の拡散を阻止するためのエボラ特別部隊が組織されています。バボル州(人口83,388人<sup>4</sup>、全15州のうち12番目の規模)で3月に設立された部隊の働きは活発で、予防と管理に関する各活動が整備されつつあります。その仕組みは以下の通り。まず、特別部隊は、州保健チーム、部族首長、宗教団体、NGO等で構成され、地域ごとに行われる感染予防啓発のためのキャンペーンを監督、調整を行います。次に州内各地域での活動について定期的に会合を持ち、各地で実施された活動の進捗状況を報告しあい、今後の方策について議論します。さらにエボラウイルス病患者の発見・追跡・フォローアップを実施するサーベイランスチームも結成し、隣の州からの接触者追跡に関する情報共有、州境での体温測定、移動歴や病気や死に至るまでの接触履歴の調査記録などを行っています。

## 市民の協力

バポル州でのこういった活動は、伝統的指導者や住民からの協力によって成り立っています。彼らは、エボラウイルス病が猛威をふるっている現実を受け入れ、更なる拡大を防ごうと手助けをしています。州内のほとんどの医療従事者は現在、エボラウイルス病患者への対応や予防に関する研修を受けています。また、検体の収集、安全な埋葬方法、安全な廃棄物処理の方法、カウンセリングや接触者追跡に係る特別な研修も実施されています。

## バポル州について

リベリアには、西部の熱帯林に位置するバポル州の他、北にロファ州、東にボン州、西にグランドケープマウント州、北西にシエラレオネ、南にボミ州があります。バポル州は、リベリアの中でも特に開発の遅れた地域で、州内の多くの場所は、近隣州及びシエラレオネからの車によるアクセスができません。このため、エボラウイルス病の拡大を防止できたと考えられています。しかし、依然として感染リスクは高く、予断を許さない状況です。人々の移動は管理しにくく、特に雨季にはとても困難な状況となって、エボラウイルス病の封じ込めを難しくさせるのです。

## 支援の必要性

エボラウイルス病対策に必要な、医療用手袋・消毒薬・食事等の支援は、全てリベリアの市場で購入可能です。

必要な薬品は以下の通りです。

- ・抗生物質(セフトリアキソン、アンピシリン、ゲンタマイシン、クロキサシリン、メトロニダゾール)
- ・制吐薬(クロルプロマジン、メトクロプラミド)
- ・下痢止め(イモディウム)
- ・鎮痛薬(パラセタモール、コデイン)
- ・抗不安薬(ジアゼパム、ハロペリドール)
- ・鎮痒薬(カラミンローション、抗ヒスタミン薬)
- ・解熱薬(パラセタモール)
- ・制酸薬(マグネシウム)
- ・抗てんかん薬(ジアゼパム)

---

<sup>1</sup> Liberia Ebola SitRep no. 129, Ministry of Health and Social Welfare, 21 Sept 2014  
<http://www.mohsw.gov.lr/documents/Liberia%20Ebola%20SitRep%20129%20Sept%2021%2c%202014.pptx%20New.pdf>

<sup>2</sup> 累積患者数 3,280 人の内訳 [890 人(感染確定)、1,470 人(可能性例)、920 人(疑い例)]

<sup>3</sup> 累積死亡者数 1720 人の内訳 [732 人(感染確定)、596 人(可能性例)、392 人(疑い例)]

---

<sup>4</sup> 2008 Population and Housing Census, LISGIS 2009  
[http://www.emansion.gov.lr/doc/Population\\_by\\_County.pdf](http://www.emansion.gov.lr/doc/Population_by_County.pdf)